

様式1-3号(別紙)

※妊よう性温存治療費助成においては凍結保存日、温存後生殖補助医療費助成においては温存後生殖補助医療の治療期間の初日が、令和6年12月24日までの場合

治療期間	【開始(予定)日】	【終了(予定)日】
	年 月 日	年 月 日

化学療法および放射線治療による性腺毒性のリスク分類(男性) ASco 2013

リスク	チェック	治療プロトコール	患者および投与量などの因子	使用対象疾患
高リスク (治療後、一般的に無精子症が遷延、永続する)	<input type="checkbox"/>	アルキル化薬* +全身照射		白血病への造血幹細胞移植の前処置、リンパ腫、骨髄腫、ユーイング肉腫、神経芽細胞腫
	<input type="checkbox"/>	アルキル化剤* +骨盤または精巣照射		肉腫、精巣腫瘍
	<input type="checkbox"/>	シクロホスファミド総量	7.5g/m ²	多くのがん腫と造血幹細胞移植の前処置など
	<input type="checkbox"/>	プロカルバジンを含むレジメン	MOPP** : > 3サイクル BEACOPP : > 6サイクル	ホジキンリンパ腫
	<input type="checkbox"/>	テモゾロミドまたはカルムスチンを含むレジメン+頭蓋照射		脳腫瘍
	<input type="checkbox"/>	精巣照射	> 2.5Gy (成人男性) > 15Gy (小児)	精巣腫瘍、急性リンパ性白血病、非ホジキンリンパ腫、肉腫、胚細胞腫瘍
	<input type="checkbox"/>	全身照射		造血幹細胞移植
中間リスク (治療後、無精子症が遷延、永続することがある)	<input type="checkbox"/>	重金属を含むレジメン BEP シスプラチン総量 カルボプラチン総量	2-4サイクル >400mg/m ² >2g/m ²	精巣腫瘍
	<input type="checkbox"/>	散乱線による精巣への放射線照射	1-6Gy	ウィルムス腫瘍、神経芽細胞腫
低リスク (一時的な造精機能低下)	<input type="checkbox"/>	アルキル化薬*以外の薬剤を含むレジメン	ABVD, CHOP, COP, 白血病に対する多剤療法	ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫、白血病
	<input type="checkbox"/>	精巣に対する放射線照射	0.2-0.7Gy	精巣腫瘍
	<input type="checkbox"/>	アントラサイクリン系+シタラビン		急性骨髄性白血病

*ブスルファン、カルムスチン、シクロホスファミド、イホスファミド、lomustine(本邦未承認)、メルファラン、プロカルバジンなど
**MOPP療法に使用されているmechlorethamineは、本邦未承認

非がん疾患患者に対して、造血幹細胞移植の実施もしくはアルキル化剤を投与する場合は、いずれかにチェックをつけてください。

造血幹細胞移植の実施

アルキル化剤の投与

原疾患治療主治医名(自署) _____

様式1-3号(別紙)

※妊よう性温存治療費助成においては凍結保存日、温存後生殖補助医療費助成においては温存後生殖補助医療の治療期間の初日が、令和6年12月25日以降の場合

治療期間	【開始(予定)日】	【終了(予定)日】
	年 月 日	年 月 日

化学療法および放射線治療による性腺毒性のリスク分類 表(男性)

男性 (治療関連による無精子症になるリスク)		低リスク	中リスク	高リスク	チェック	
化学療法	Cyclophosphamide equivalent dose (CED)	<4,000 mg/m ²	—	≥4,000 mg/m ²	<input type="checkbox"/>	
		<4,000 mg/m ² : 約90%は精液所見正常	—	≥4,000 mg/m ² : 精子運動性低下 ≥8,000 mg/m ² : 無精子症が 遷延・永続	<input type="checkbox"/>	
	薬剤別	アルキル化薬	CED 参照			<input type="checkbox"/>
		白金製剤		CDDP < 600 mg/m ²	CDDP > 600 mg/m ²	<input type="checkbox"/>
		アントラサイクリン		CBDA L-OHP		<input type="checkbox"/>
		代謝拮抗薬	6-MP, MTX, Flu	DXR, IDR, DNR, MIT		<input type="checkbox"/>
		ピンカアルカロイド	VCR, VBL			<input type="checkbox"/>
		その他	ETP, BLM, Act-D, MMC			<input type="checkbox"/>
レジメン別	ABVD, CHOP, COP	BEP 2~4 サイクル	BEACOPP : >6 サイクル 骨肉腫治療 ユーイング肉腫治療	<input type="checkbox"/>		
化学療法+放射線治療				アルキル化薬+骨盤照射 アルキル化薬+精巣照射	<input type="checkbox"/>	
				TMZ+頭蓋照射 BCNU+頭蓋照射	<input type="checkbox"/>	
造血幹細胞移植				BU+CPA Flu+L-PAM	<input type="checkbox"/>	
				アルキル化薬+全身照射	<input type="checkbox"/>	
放射線治療	全身照射			○	<input type="checkbox"/>	
	頭蓋照射			≥40Gy	<input type="checkbox"/>	
	骨盤照射			○	<input type="checkbox"/>	
	精巣照射	<0.7Gy 放射性ヨウ素 (I-131)	1~6Gy	成人男性 >205Gy 小児 ≥6Gy	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

非がん疾患患者に対して、造血幹細胞移植の実施もしくはアルキル化剤を投与する場合は、いずれかにチェックをつけてください。

- 造血幹細胞移植の実施
 アルキル化剤の投与

原疾患治療主治医名 (自署)
